※　応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和８年１０月発行　　広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.102)



広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181

広尾っ子応援団本部会議を開催

１０月６日に広尾っ子応援団本部（地域学校協働本部）会議が行われました。会議では本部長の及川副町長の挨拶の後、事務局から、昨年の１０月から今年の９月までの取組内容にかかわる報告がありました。



その後、協議事項として、①各学校運営協議会の「教育環境を生かした取組」への対応、②学校の支援要望への対応、③応援団登録、応援メッセージ活動の促進、④情報発信、⑤放課後読書等ふれあい広場、⑥サテライト応援団本部について話し合い、各項目の取組内容が承認されました。

「広尾っ子応援団本部」は、地域学校協働活動を推進するために設置され、地域住民と学校との連携体制づくりや協働活動の普及啓発に取り組んでいます。

第２回学校運営協議会が開催されました

各小・中学校で、今年度２回目の学校運営協議会が開催されました。今回の会議では議事が「教育環境を生かした取組の決定」、熟議が学校からの情報提供を受けて、「子どもたちの実態」について意見交換をしましたので、今号では中学校の様子を紹介します。

【広尾中学校（９月２９日実施）】



◇議事：「教育環境を生かした取組の決定」

・地域の産業、観光、自然、歴史などを題材に地域の方から学び、地域の魅力や課題を捉え、まちづくりにつながる提案を行う　・地元企業等との連携を通して、地域にある様々な職業や働くことの意義を知り、職場体験などを通して将来の生き方を考える　・地域の施設や自然等を学習の場として活用し、実際の体験を通して学びを深める　・各教科においても、可能な限り、地域の自然・産業・歴史などを教材として活用し、実生活と結び付いた学びを進める

→以上を通して、学校と保護者・地域の方々が、子どもの成長を共に実感できることを目指す。

◇熟議：「子どもたちの実態」

強み（よい所）　・純粋　・真面目　・素直さ　・地域の人とのつながり　・少人数が故に先生の目が届きやすい　・結び付きが強く、お互いの成長を知ることができる

弱み（直したい所）　・競争心　・積極性、リーダーシップ　・少人数で活動が制限される　・困難に立ち向かう力　・将来への方向性

広尾高校の第２回学校運営協議会より

９月２４日に広尾高校の第２回学校運営協議会が開催されました。会議では、重点教育目標「セルフプロデュース力を身に付ける」にかかわる中間評価（教務部、生徒指導部、進路指導部）及び各学年における「解決すべき事項と方策」の説明と、「地域学の現状と今後の方向性」について熟議が行われましたので、その内容を紹介します。



【今年度の現状報告】・いくつかのチームが「広尾地域学」をもとに課題研究をしている　・高校生議会の意見が町の施策に反映された　・見学先に興味関心を向ける工夫　等

【今後に向けた意見】・小、中学校の「ひろお学」との関連でレベルアップするようなテーマの選定　・見学からさらに学びを深める活動　・経済的な取組を題材とした学び　等

地域の協力による学習活動

１０月１日に豊似小学校の３年生が「ひろお学」として、「大森ガーデン」さんの協力のもと地域における畑や花の魅力を探求するため、見学学習に出かけました。この日は、大森ガーデナー（造園師）から園の歴史や施設概要、植えられている花の種類や数などについて教えていただきました。子どもたちからは、今まで苦労したことなど、たくさん質問があり、また、記録写真を撮ったり熱心にメモを取るなど学びを深めていました。

この授業を通して、子どもたちは地域の理解・魅力や地元への関心がより深まったことと思います。



